



ユーザーズマニュアル

通信編

目次

モードAを使用した操作例

Palmと携帯電話での赤外線ワイヤレスインターネット接続の操作例	1
--	---

モードBを使用したインターネット接続

WindowsXPでインターネットに接続する	7
WindowsMe/98でインターネットに接続する	15
Windows2000でインターネットに接続する	31
Macintoshでインターネットに接続する	40

モードCを使用した操作例

PCとPalmの赤外線ワイヤレスHotSyncの操作例	46
-----------------------------------	----

リファレンス

ATコマンドの入力方法	49
ATコマンド設定一覧表の見方	49
Sレジスタの設定方法	54
Sレジスタ設定一覧表の見方	54
リザルトコード一覧表	55

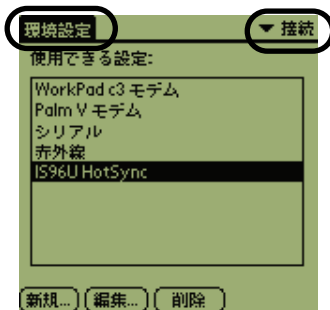
正しく安全にお使いいただくために、ご利用の
前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

モードAを使用した操作例

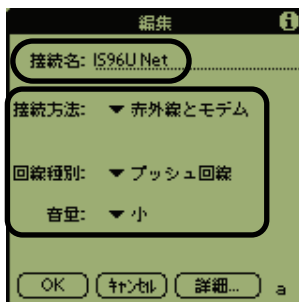
Palmと携帯電話での赤外線ワイヤレスインターネット接続の操作例

参考例として、Palm端末で赤外線によるワイヤレスインターネット接続を行う場合の操作を説明します。

- 1 Palm端末の設定を行います。ホームメニューから、「環境設定」アイコンをタップし、右上のプルダウンメニューで「接続」を選択します。



- 2 「新規」ボタンをタップし、新たに本製品でのインターネット接続の設定を作成します。
- 3 「接続名」に、製品名など、わかりやすいものを入力します。ただし、モードCにおいて違う内容での設定を作成する場合は、モードCと区別がつく名前がよいでしょう。ここでは「IS96U.Net」とします。「接続方法」を「赤外線とモデム」に、「回線種別」を「プッシュ回線」に、音量を「小」にそれぞれ設定します。(PalmOSのバージョンによっては、「接続方法」ではなく、「接続先」と「媒体」に分かれています。この場合は、「接続先」に「モデム」、「媒体」に「赤外線」をそれぞれ設定してください。)

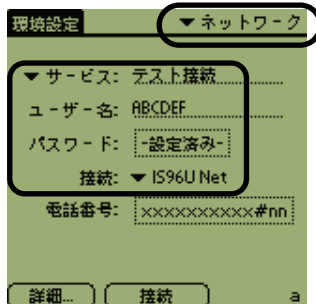


- 4 「詳細」ボタンをタップし、詳細メニューを表示させます。「速度」を「57,600bps」、「フロー制御」を「自動」にそれぞれ設定します。「コマンド」欄は空白のままにしてください。



「OK」ボタンを2回タップし、環境設定の画面にもどります。

- 5 右上のプルダウンメニューから「ネットワーク」を選択します。「サービス」に、「テスト接続」(プロバイダ名などわかりやすいもの。ここでは「テスト接続」とします。)と入力してください。「ユーザー名」に接続先のプロバイダの接続アカウント(ログイン名:ここでは「ABCDEF」とします。)を入力してください。「パスワード」に接続先のプロバイダのパスワードを入力してください。(パスワード欄をタップすると入力画面が開きます。)入力後、「OK」をタップします。「接続」に通信設定で登録した「IS96U.Net」を選択します。



- 6 「電話番号」に接続先の電話番号を登録します。電話番号欄をタップするとダイヤルの設定画面が表示されます。電話番号（XXX-XXX-XXXX）は市外局番から入力し、電話番号の末尾に通信方式を指定する#nnを追加します。

携帯電話9600bpsデータ通信の場合は

XXXXXXXXXXXX#9600 または XXXXXXXXXXXX

64kPIAFSデータ通信の場合は

XXXXXXXXXXXX#64

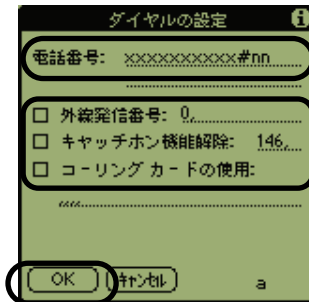
32kPIAFSデータ通信の場合は

XXXXXXXXXXXX#32

パケット通信の場合は

XXXXXXXXXXXX#2896

この時表示される「外線発信番号」、「キャッチホン機能解除」、「コーリングカードの使用」のチェックは外したままにしておきます。「OK」をタップしてネットワーク設定の画面に戻ります。



- 7 「詳細」ボタンをタップして詳細設定項目を表示させます。「接続タイプ」を「PPP」、「切断までの時間」を「電源オフ」に選択します。「クエリーDNS」のチェックを外し、「プライマリDNS」と「セカンダリDNS」にプロバイダから通知されたネームサーバー（DNS）をそれぞれ入力します。「IPアドレス」にはチェックを入れます。

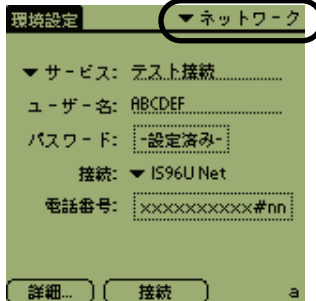


- 8 「スクリプト」ボタンをタップしてログインスクリプトの設定画面を表示します。



「終了」のみであることを確認して「OK」ボタンを2回タップして環境設定の画面に戻ります。以上でネットワークの設定は完了しました。

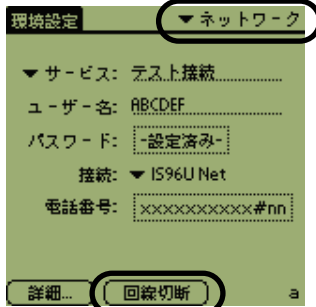
- 9 Ir-TrinityとPalm端末の赤外線ポートが向き合っていることを確認し、「環境設定」の右上のプルダウンメニューから「ネットワーク」を選択します。



- 10 「接続」ボタンをタップします。接続状況が表示され、ログインが完了するとブラウザやメールソフトが使用可能になります。



- 11 通信を終了するときは、「環境設定」の右上のプルダウンメニューから「ネットワーク」を選択し、「回線切断」ボタンをタップします。



この後携帯電話の通話が切れていることを必ずご確認ください。

Windows搭載のPCや、WindowsCE搭載のPDAでの設定例

赤外線ポートを持ったWindows搭載PCや、WindowsCE搭載PDAで本製品をモードAで使用する場合のPCやPDAの設定例を説明します。なお、ご利用のPCやPDAの環境によっては、赤外線ポートの設定が必要になったり、赤外線ポートを装備していても利用できない場合もあります。詳しくは、OSやPC、PDAのマニュアルもあわせてご参照ください。

Windows95/98/Meの場合

コントロールパネル - モデムで赤外線ポートをモデムとして追加します。モデムの種類は、「製造元」に「(標準モデムの種類)」、「モデル」に「標準14400 bpsモデム」を設定してください。次に、「モデムを接続するポート」に「仮想赤外線ポート」を設定してください。

その後、ダイヤルアップ接続のモデムにここで設定したモデムを選択することで、赤外線ポート経由のダイヤルアップ接続が利用できます。

Windows2000の場合

コントロールパネル - ネットワークとダイヤルアップ接続 - 設定されているダイヤルアップ接続のプロパティ - 全般タブを開き、「接続の方法」の中にある「赤外線モデムポート」にチェックを入れてください。

WindowsCE3.0の場合

ダイヤルアップで使用するデバイスとして「赤外線ポート」を設定してください。

モードBを使用したインターネット接続

WindowsXPでインターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダー（以下、プロバイダー）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダーに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダーに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

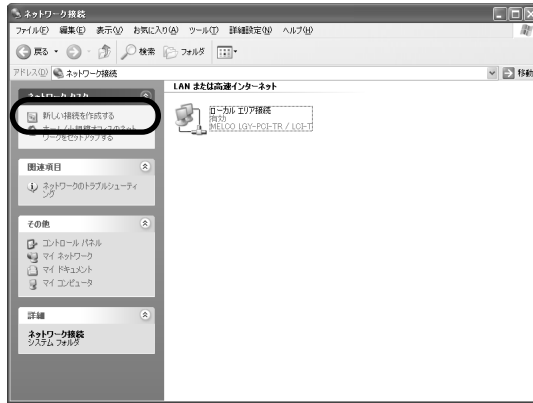
プロバイダーに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従って設定を行ってください。

ダイヤルアップ接続の作成

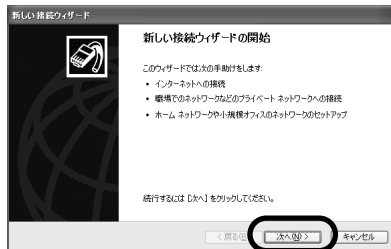
- 1 「スタートボタン」-「コントロールパネル」と選択してください。
「ネットワーク接続」をダブルクリックします。



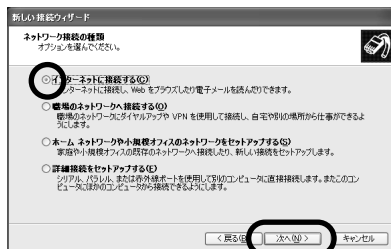
2 「新しい接続を作成する」をダブルクリックしてください。



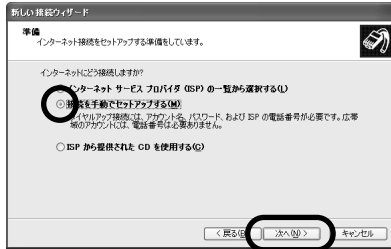
3 「新しい接続ウィザード」が開始されます。「次へ」をクリックしてください。



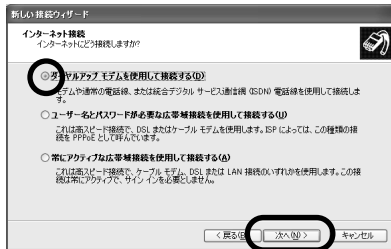
4 「インターネットに接続する」をチェックして、「次へ」をクリックしてください。



- 5 「接続を手動でセットアップする」をチェックして、「次へ」をクリックしてください。

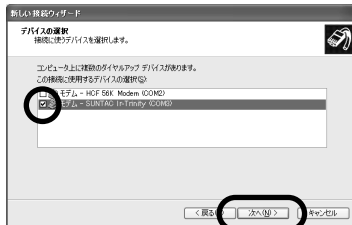


- 6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」をチェックして、「次へ」をクリックしてください。



- 7 デバイスの選択画面が開かれた場合には「モデム-SUNTAC Ir-Trinity」をチェックして、「次へ」をクリックしてください。

(表示されない場合もあります。)



- 8 接続名を入力する画面が開きます。接続するプロバイダ名など分かりやすいものを入力し、「次へ」をクリックしてください。

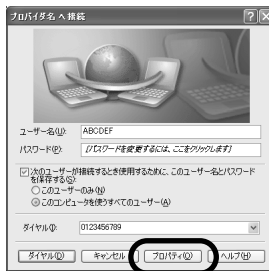
- 9 「電話番号」に接続先の電話番号を市外局番から入力し、「次へ」をクリックしてください。

- 10 ユーザ名、パスワード、パスワードの確認（再度パスワード入力）を入力し、「次へ」をクリックしてください。

- 11 新しい接続ウィザードが完了します。「完了」をクリックしてください。

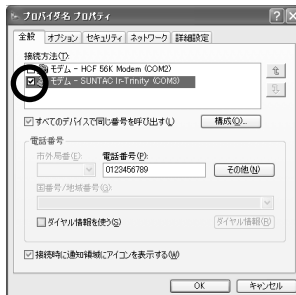


- 12 接続画面が表示されます。「プロパティ」をクリックしてください。



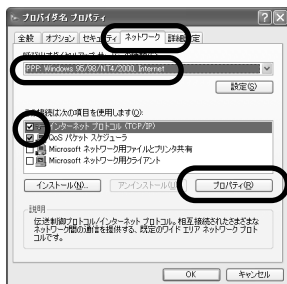
- 13 「全般」タブの接続方法の項目で「SUNTAC Ir-Trinity」のみにチェックされていることを確認してください。チェックされていない場合は「SUNTAC Ir-Trinity」のみチェックしてください。

インストールされているモデムが「SUNTAC Ir-Trinity」のみの場合は選択の必要はありません。

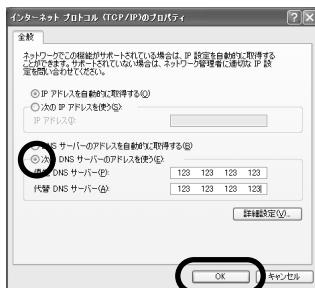


14 「ネットワーク」タブをクリックしてください。

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の項が「PPP: Windows95/98/NT4/2000, Internet」になっていることを確認し、「この接続は次の項を使用します」の項に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」がチェックされていることを確認します。チェックされていれば「プロパティ」をクリックしてください。



15 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」をクリックして、プロバイダから通知されたDNSサーバーのIPアドレスを入力します。入力が終わったら「OK」をクリックしていき、接続の画面に戻ります。



以上で、ダイヤルアップ接続の作成は完了です。

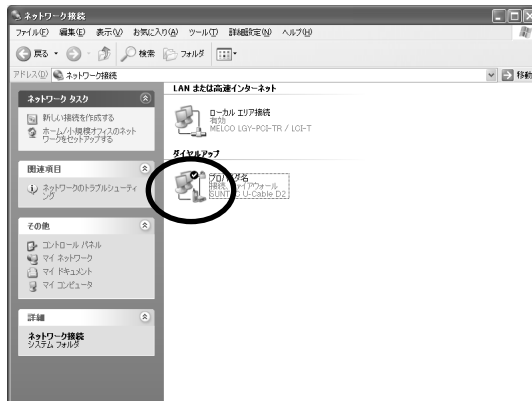
モードBを使用したインターネット接続

接続方法

- 1 プロパティの設定が完了したら、「ダイヤル」をクリックすると、接続が開始されます。



- 2 接続が完了するとタスクバーに接続アイコンが表示されます。
- 3 次回の接続からは、ネットワーク接続内に出き上がったアイコンをダブルクリックして、ダイヤルをクリックすれば接続できます。



切断

タスクバーの接続アイコンをダブルクリックして接続の状態を表示させ、「切断」ボタンをクリックすると切断できます。



通信終了後は必ず携帯電話の接続も終了していることを確認してください。回線が繋がったままの場合は、携帯電話の終話ボタンを押して回線を切ってください。

WindowsMe/98でインターネットに接続する

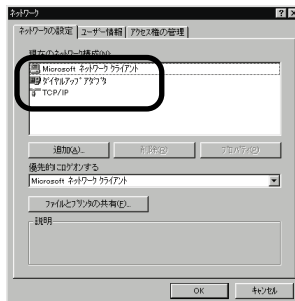
ダイヤルアップネットワークの確認

WindowsMe/98に必要なソフトがインストールされていることを確認します。以下の手順でおこなってください。

- 1 「スタートボタン」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択してください。
- 2 「コントロールパネル」が開きます。「ネットワーク」をダブルクリックしてください。



- 3 「ネットワーク」設定画面が開きます。「現在のネットワーク構成」で「Microsoftネットワーククライアント」、「ダイヤルアップアダプタ」、「TCP/IP」がインストールされていることを確認してください。



- 4 すべてインストールされている場合は23ページの「ダイヤルアップネットワークを登録する」に進んでください。インストールされていないファイルがある場合は、この画面から次ページの説明を参照してインストールしてください。

ネットワーク構成ファイルをインストールする

Microsoftネットワーククライアントをインストールする

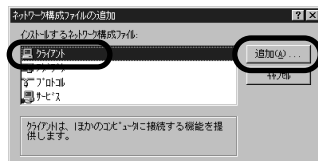
「Microsoftネットワーククライアント」がインストールされている場合は、次ページ「ダイヤルアップアダプタをインストールする」に進んでください。



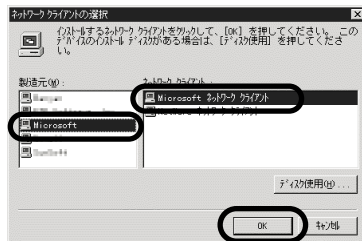
- 1 「ネットワーク」設定画面で「追加」ボタンをクリックしてください。



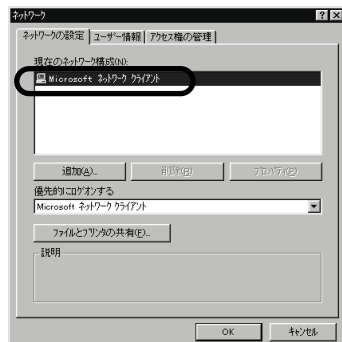
- 2 「ネットワーク構成ファイルの追加」又は「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「クライアント」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



- 3 「ネットワーククライアントの選択」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「Microsoftネットワーククライアント」から「Microsoftネットワーククライアント」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



- 4 「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワーク構成」に「Microsoftネットワーククライアント」が表示されていることを確認して、次ページへ進んでください。



ダイヤルアップアダプタをインストールする

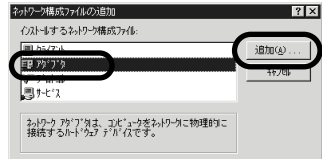
「ダイヤルアップアダプタ」がインストールされている場合は、次ページ「TCP/IPをインストールする」に進んでください。



- 1 「ネットワーク」設定画面で「追加」ボタンをクリックしてください。

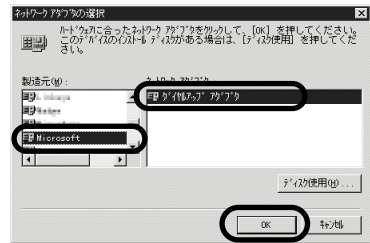


- 2 「ネットワーク構成ファイルの追加」又は「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。

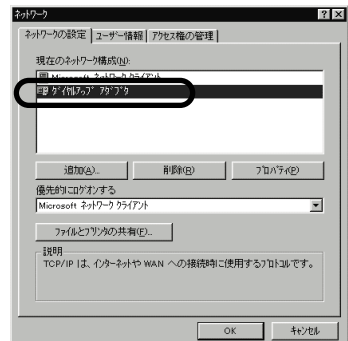


「アダプタ」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。

- 3 「ネットワークアダプタの選択」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「ネットワークアダプタ」から「ダイヤルアップアダプタ」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

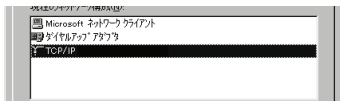


- 4 「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワーク構成」に「ダイヤルアップアダプタ」が表示されていることを確認して、次ページへ進んでください。



TCP/IPをインストールする

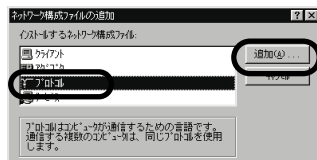
「TCP/IP」がインストールされている場合は、次ページ「新しいネットワーク設定を有効にする」に進んでください。



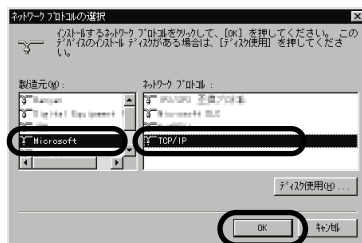
- 1 「ネットワーク」設定画面で「追加」ボタンをクリックしてください。



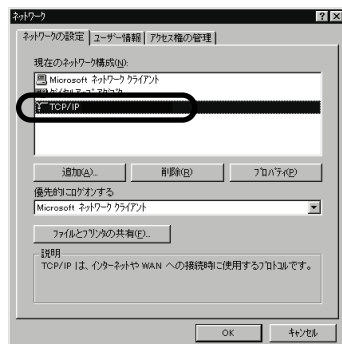
- 2 「ネットワーク構成ファイルの追加」又は「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



- 3 「ネットワークプロトコル」画面に切り替わります。「製造元」から「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」から「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

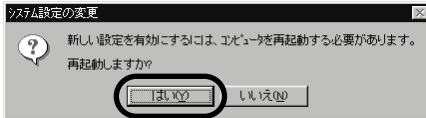


- 4 「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワーク構成」に「TCP/IP」が表示されていることを確認して、「OK」ボタンをクリックしてください。



新しいネットワーク設定を有効にする

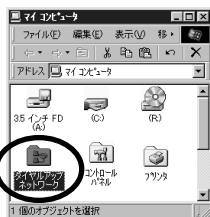
「新しい設定を有効にするためにはコンピュータを再起動する必要があります。再起動しますか?」というメッセージが表示されます。再起動してかまわなければ「はい」をクリックしてください。



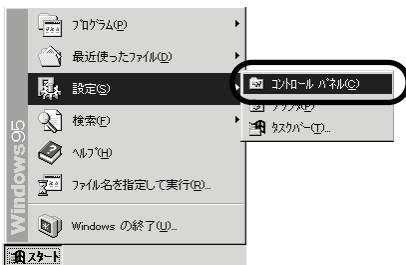
ダイヤルアップネットワークをインストールする

WindowsMeの場合は「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」の中に「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンがあることを確認してください。

Windows98の場合は「マイコンピュータ」の中に「ダイヤルアップネットワーク」があることを確認してください。「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンが確認できれば、すでにインストールされている状態です。23ページの「ダイヤルアップネットワークを登録する」に進んでください。



- 1 「スタートボタン」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択してください。



- 2 コントロールパネルが開きます。「アプリケーションの追加と削除」のアイコンをダブルクリックしてください。

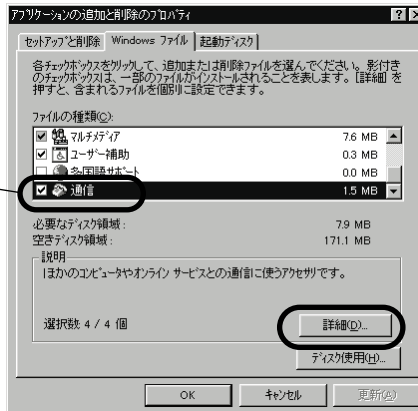


- 3 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面が開きます。「Windowsファイル」タブをクリックしてください。



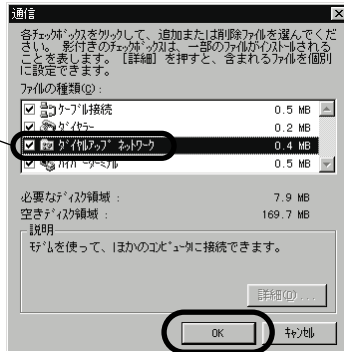
- 4 「Windowsファイル」のページが最前面に出ます。「ファイルの種類」から「通信」にチェックを付けて、「詳細」ボタンをクリックしてください。

「通信」にすでにチェックが付いている場合は、チェックボックスをクリックしないでください。チェックマークが消されたまま「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」を終了すると、「通信」が削除されます。



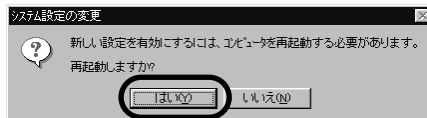
- 5 「通信」画面が開きます。「ダイヤルアップネットワーク」にチェックを付けて、「OK」ボタンをクリックしてください。

チェックボックスをクリックせず単に「ダイヤルアップネットワーク」を選択しただけだったり、チェックボックスを2回クリックしたりした場合は、チェックボックスにはチェックマークは付きません。必ず「ダイヤルアップネットワーク」チェックボックスにチェックが付いていることを確認してください。



Windows Me/98のマスタディスクが必要になる場合があります。各種設定を問い合わせることができますので、情報を入力してください。

- 6 「ファイルのコピー」ダイアログが開き、ダイヤルアップネットワークのインストールが開始されます。
- 7 終了すると、「システム設定が変更されました」というメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。
- 8 「新しい設定を有効にするためにはコンピュータを再起動する必要があります。再起動しますか？」というメッセージが表示されます。再起動してかまわなければ「はい」をクリックしてください。



ダイヤルアップネットワークを登録する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

プロバイダに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従ってダイヤルアップネットワークを設定してください。

プロバイダの登録

- 1 WindowsMeの場合は「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。
Windows98の場合は「マイコンピュータ」の「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。



- 2 「ダイヤルアップネットワーク」のダイアログが開きます。「新しい接続」をダブルクリックしてください。



- 3 「新しい接続」画面が開きます。「接続名」入力欄に接続先の名称を入力してください。

接続名は、契約プロバイダ名などの判りやすいものが良いでしょう。



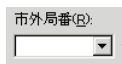
- 4 「モデムの選択」のプルダウンメニューから「SUNTAC Ir-Trinity」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックしてください。



- 5 接続先の電話番号設定画面に切り替わります。



- 6 「市外局番」は空白にしておいてください。



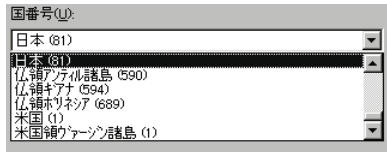
モードBを使用したインターネット接続

- 7 「電話番号」に接続先の電話番号を市外局番から入力してください。



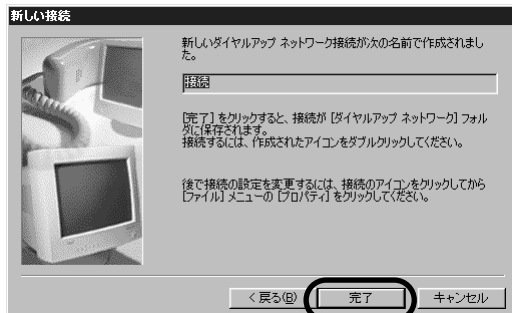
電話番号(D):
xxxxxxxxxx

- 8 「国番号」のプルダウンメニューから「日本(81)」を選択してください。



国番号(U):
日本 (81)
日本 (81)
仏領アタフル諸島 (590)
仏領キアナ (594)
仏領ポリネシア (689)
米国 (1)
米国領ワージン諸島 (1)

- 9 「次へ」ボタンをクリックしてください。「新しいダイヤルアップネットワーク接続が次の名前で作成されました」というメッセージが表示されます。

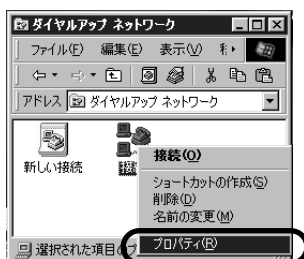


- 10 「完了」ボタンをクリックしてください。登録が完了すると「ダイヤルアップネットワーク」のフォルダに登録した接続先名が加わります。

プロバイダの設定

登録したダイヤルアップネットワークがインターネット接続できるように設定をおこないます。

- 1 新しく登録した接続先のアイコン上でマウスを右クリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。メニューから「プロパティ」を選択してください。



- 3 接続先の情報設定画面が開きます。「サーバーの種類」タブまたは「ネットワーク」タブをクリックしてください。



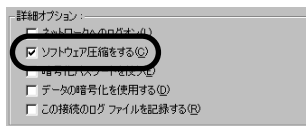
- 4 「サーバーの種類」または「ネットワーク」の設定画面が表示されます。



- 5 「サーバーの種類」プルダウンメニューの中からWindowsMeでお使いの場合は「PPP:インターネット、Windows2000/NT、WindowsMe」を、Windows98でお使いの場合は「PPP:インターネット、WindowsNT Server、Windows98」を選択してください。



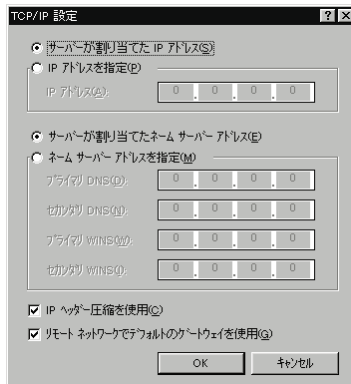
- 6 「詳細オプション」の中から「ソフトウェア圧縮をする」だけにチェックを付けてください。



- 7 「使用できるネットワークプロトコル」の中から「TCP/IP」だけにチェックを付けてください。



- 8 「TCP/IP設定」ボタンをクリックしてください。
「TCP/IP設定」画面が表示されます。



- 9 IPアドレスは、「サーバーが割り当てたIPアドレス」にチェックを付けてください。

サーバーが割り当てた IP アドレス(S)

- 10 ネームサーバアドレスは、「ネームサーバアドレスを指定」にチェックを付けてください。

ネームサーバアドレスを指定(M)

- 11 「プライマリDNS」入力欄にプロバイダから通知されたネームサーバ（DNS）のIPアドレスを入力してください。



- 12 「OK」ボタンを順番にクリックして、「ダイヤルアップネットワーク」のプログラムグループに戻ってください。
ここで登録した接続のアイコンができています。

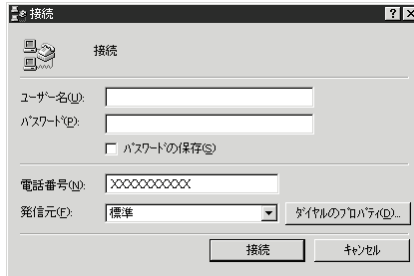
以上で、ダイヤルアップネットワークのインストールは完了です。

接続方法

- 1 先程の設定で作成したアイコン(接続など)をダブルクリックしてください。



- 2 接続先のダイアログボックスが表示されます。



- 3 「ユーザー名」に接続先のプロバイダの接続アカウント(ログイン名)を入力してください。



- 4 「パスワード」に接続先のプロバイダのパスワードを入力してください。



- 5 「接続」ボタンをクリックしてください。接続が開始されます。

6 接続が完了するとタスクバーにアイコンが表示されます。



以上で、インターネットへの接続は完了しました。WWWブラウザやメールソフトなどのインターネットアプリケーションソフトが使用可能になります。



ダイヤルアップネットワークで接続をおこなう前に直接インターネットアプリケーションソフトを起動した場合、ダイヤルアップネットワークが自動的に起動してダイヤルをおこない、インターネットに接続した後でインターネットアプリケーションソフトが立ち上がります。

切断

回線を切断する場合は、タスクバーのアイコンをダブルクリックします。



表示された画面の「切断」ボタンをクリックしてください。



通信終了後は必ず携帯電話の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、携帯電話の終話ボタンを押して回線を切ってください。

Windows2000でインターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダー（以下、プロバイダー）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダーに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

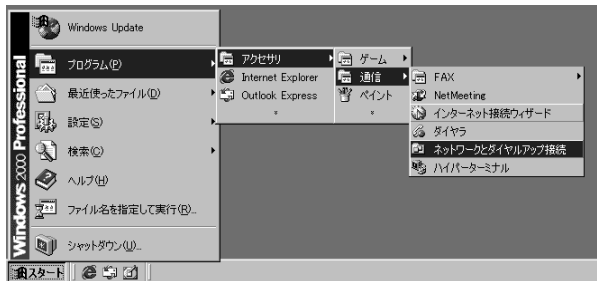
インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダーに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 4 パスワード

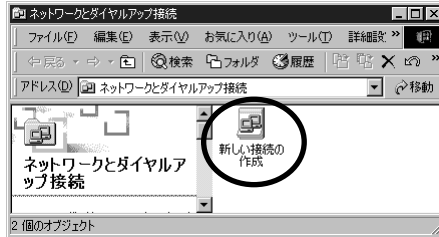
プロバイダーに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従って設定を行ってください。

ダイヤルアップ接続の作成

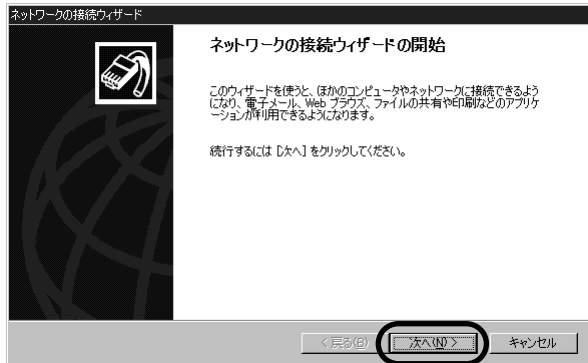
- 1 「スタートボタン」－「プログラム」－「アクセサリ」－「通信」－「ネットワークとダイヤルアップ接続」と選択してください。



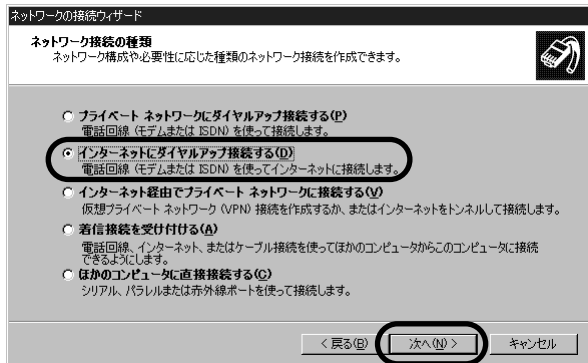
2 「新しい接続の作成」をダブルクリックしてください。



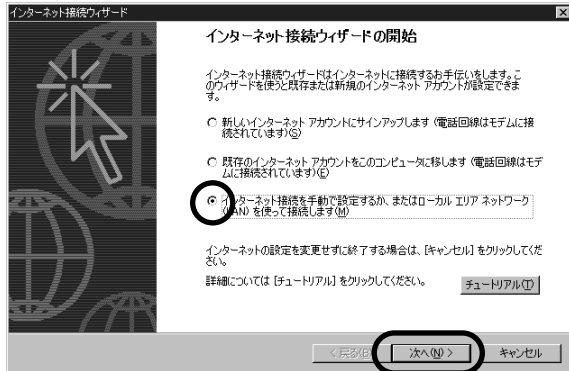
3 「ネットワークの接続ウィザード」が開始されます。「次へ」をクリックしてください。



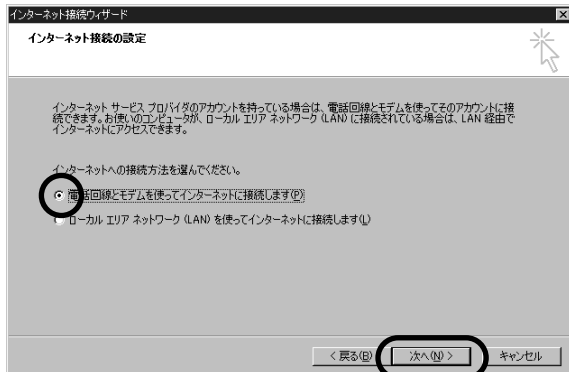
4 「インターネットにダイヤルアップする」をチェックして、「次へ」をクリックしてください。



- 5 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」にチェックの上、「次へ」をクリックしてください。



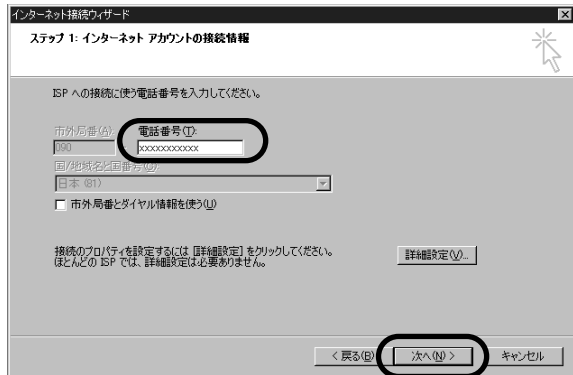
- 6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」にチェックの上、「次へ」をクリックしてください。



7 モデムの選択で「SUNTAC Ir-Trinity」を選択します。



8 「電話番号」に接続先の電話番号を市外局番から入力してください。



携帯電話の場合、市外局番から設定した方が望ましいため「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックをはずして、電話番号の欄に市外局番から入力してください。

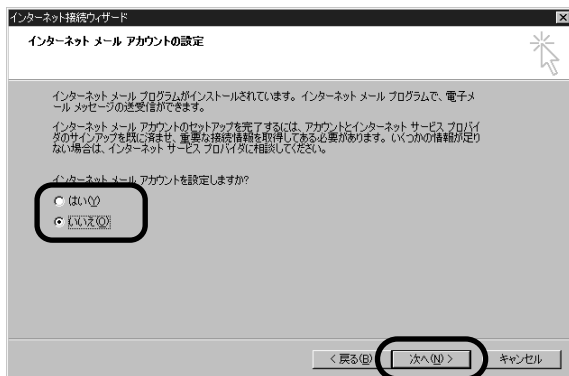
- 9 ユーザ名称、パスワードを入力し、「次へ」をクリックしてください。

The screenshot shows a window titled "インターネット接続ウィザード" (Internet Connection Wizard) with the subtitle "ステップ 2: インターネット アカウントのログイン情報" (Step 2: Internet Account Login Information). The main text reads: "ISP へのログインに使うユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名は、メンバー ID またはユーザー ID ともに入ります。ユーザー名またはパスワードがわからない場合は、ISP に問い合わせてください。" (Please enter the user name and password used for logging in to the ISP. The user name can be the member ID or user ID. If you do not know the user name or password, please contact the ISP for assistance.) Below this text are two input fields: "ユーザー名(U):" (User Name) containing "xxxxxxxx" and "パスワード(P):" (Password) containing "xxxxxxxx". Both fields are circled in red. At the bottom right, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next), and "キャンセル" (Cancel). The "次へ(N) >" button is circled in red.

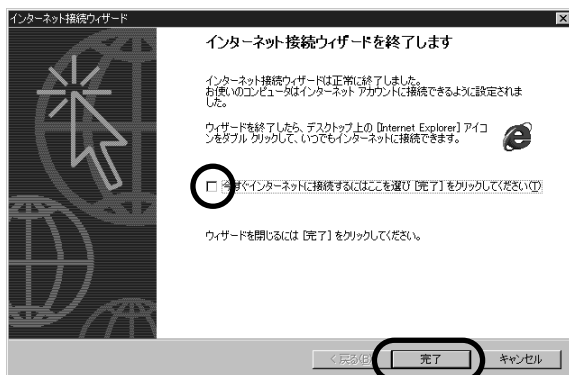
- 10 接続名を記入して、「次へ」をクリックしてください。
接続名は契約プロバイダ名など判りやすいものが良いです。

The screenshot shows a window titled "インターネット接続ウィザード" (Internet Connection Wizard) with the subtitle "ステップ 3: コンピュータの設定" (Step 3: Computer Settings). The main text reads: "インターネットのアカウントに関する情報は、ダイヤルアップ接続として、指定した名前と一緒に表示されます。ダイヤルアップ接続の名前を入力してください。ISP の名前でも、自分の好きな名前でもかまいません。" (Information about the Internet account will be displayed as a dial-up connection with the specified name. Please enter the name for the dial-up connection. It can be the ISP's name or any name you prefer.) Below this text is a single input field labeled "接続名(C)" (Connection Name) with the text "ダイヤル接続" (Dial-up connection) inside it. The label and the input field are circled in red. At the bottom right, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next), and "キャンセル" (Cancel). The "次へ(N) >" button is circled in red.

- 11 「メールアカウント」を設定する必要がある場合、上記画面で「はい」をクリックした上で、「次へ」をクリックして、メールアカウントの設定を行ってください。本例では、メールアカウントの設定は省略します。



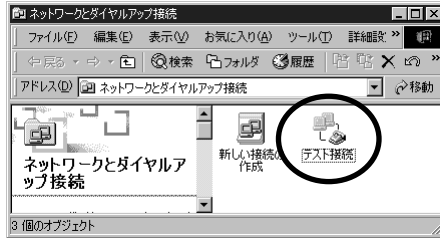
- 12 「今すぐ・・・」のチェックをはずした上で、「完了」をクリックして、ウィザードを終了します。



以上でダイヤルアップ接続の作成は完了です。

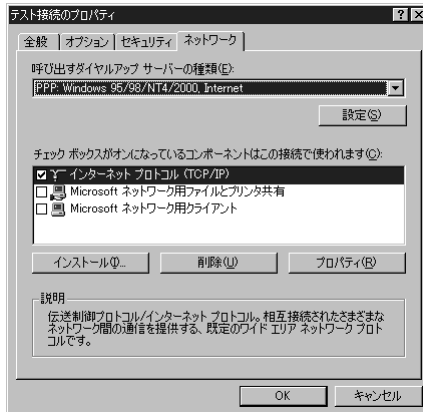
接続方法

- 1 ダイアルアップ接続の作成で作成したアイコンをクリックし、「ファイル」-「プロパティ」をクリックして、プロパティを表示します。



- 2 プロパティの中で、お使いのプロバイダ、もしくはネットワーク環境にあった設定をしてください。設定が完了したら、「OK」をクリックしてプロパティを閉じてください。（一度設定すれば、次回からは設定の必要はありません。）

設定内容については、プロバイダ、ネットワーク管理者などに確認してください。



- 3 プロパティの設定が完了したら、アイコンをダブルクリックして接続画面を表示してください。「ダイヤル」をクリックすると、接続が開始されます。

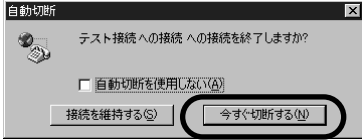


- 4 接続が完了するとタスクバーにアイコンが表示されます。

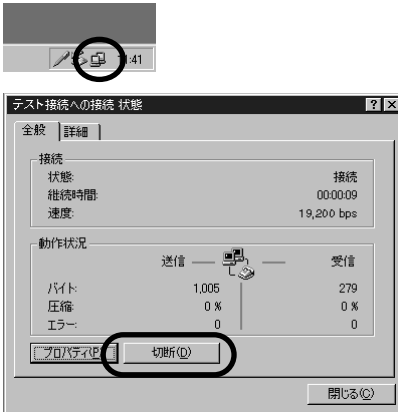


切断

ブラウザを閉じた時「自動切断」のダイアログが表示された場合は「今すぐ切断する」をクリックしてください。



タスクバーのアイコンをダブルクリックして接続の状態を表示して「切断」ボタンをクリックして切断することもできます。



通信終了後は必ず携帯電話の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、携帯電話の終話ボタンを押して回線を切ってください。

インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入り口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申し込み契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

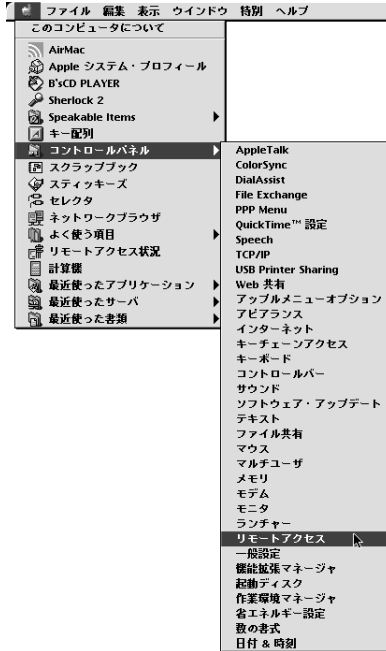
インターネットに接続するためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス。
（「.」で4つに区切られた、それぞれが3桁以内の数字。
例：xxx.xxx.xxx.xxx）
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名。ここでは「名前」とも表現されています。）
- 5 パスワード

モードBを使用したインターネット接続

TCP/IPの設定

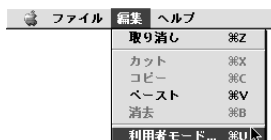
- 1 「アップルメニュー」の「コントロールパネル」の「リモートアクセス」を選択し、起動します。



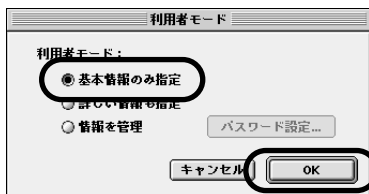
- 2 「リモートアクセス」メニューの「TCP/IP」を選択します。



- 3 「TCP/IP」が起動したら、「編集」メニューから「利用者モード」を選択します。

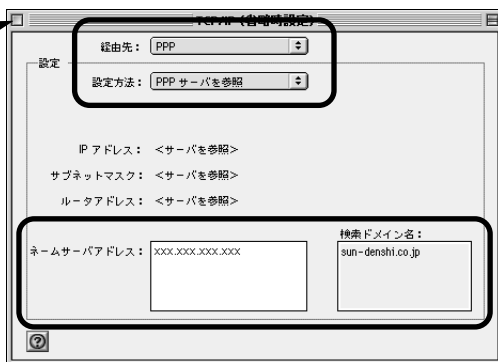


- 4 「基本情報のみ指定」を選択して「OK」をクリックします。「利用者モード」が閉じます。

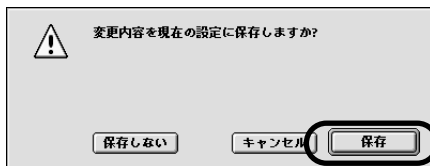


- 5 続いて、「TCP/IP」の設定をします。「経路先」メニューから「PPP」を選択し、「設定方法」メニューから「PPPサーバを参照」を選択します。「ネームサーバアドレス」、「検索ドメイン名」を入力します。

閉じるには
ここをクリック。



- 6 上図の矢印の箇所をクリックすると、「変更内容を現在の設定に保存しますか？」という下記の画面が開きますので「保存」ボタンをクリックします。「TCP/IP」が閉じます。



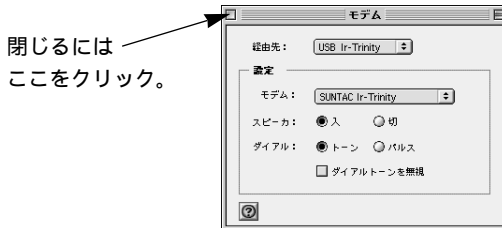
モデムの設定

- 1 「リモートアクセス」のダイアログ（画面）を選択した状態にし、「TCP/IP」の設定と同様に「リモートアクセス」メニューの「モデム」を選択します。
「モデム」の設定は、必ず本製品だけをUSBポートに接続した状態で行うようにしてください。

? **参考** Ir-TrinityをUSBポートに接続していない状態で「モデム」を選択しても、「経路先」に本製品に該当する「USB Ir-Trinity」は表示されません。



- 2 「経路先」メニューから、本製品に該当する「USB Ir-Trinity」を選択し、「モデム」メニューから、「SUNTAC Ir-Trinity」を選択します。
「ダイヤル」は「トーン」を選択し、「ダイヤルトーンを無視」のチェック欄のチェックを外してください。



上図の矢印の箇所をクリックすると「変更内容を現在の設定に保存しますか？」という画面が開きますので「保存」ボタンをクリックします。「モデム」が閉じます。

リモートアクセスの設定

- 1 「リモートアクセス」のダイアログ（画面）を選択した状態にし、「名前」、「パスワード」、「電話番号」を入力します。

名前 : プロバイダに接続する際の、接続アカウント（ユーザーID やアクセスID）を入力します。すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。

パスワード : プロバイダに接続する際の、パスワードを入力します。すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。

電話番号 : 接続先プロバイダの接続したいアクセスポイントの電話番号を入力します。電話番号はすべて半角英数字で、市外局番から「-（ハイフン）」を入れずに続けて入力します。



「パスワードを保存」のチェックボックスにチェックがしてある場合、一度設定が完了すれば次回からはパスワードを入力しなくても、プロバイダに接続できるようになります。

チェックをしない場合は、接続時に毎回パスワードを入力する必要がありますので、パスワードを知らない人があなたのアカウント名でこのコンピュータからプロバイダに接続することを防止できます。必要に応じてチェックをするか、しないかを決めましょう。

- 2 入力が完了したら、「リモートアクセス」をいったん閉じます。
- 矢印の箇所をクリックすると（前頁参照）「変更内容を現在の設定に保存しますか？」という画面が開きますので「保存」ボタンをクリックします。「リモートアクセス」が閉じます。

これで、プロバイダに接続するための設定は完了しました。

すべての情報が正しく設定されていれば、次回からは、「リモートアクセス」を起動して、この設定で「接続」ボタンをクリックするとプロバイダに接続できます。



「接続」ボタンをクリックします。接続が始まります。プロバイダに接続されると「状況」に「接続が確定しました」と表示されます。

以上で、インターネットへの接続は完了しました。WWWブラウザやメールソフトなどのインターネットアプリケーションソフトが使用可能になります。

- 3 回線切断は、「解除」をクリックします。



通信終了後は必ず携帯電話の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、携帯電話の終話ボタンを押して回線を切ってください。

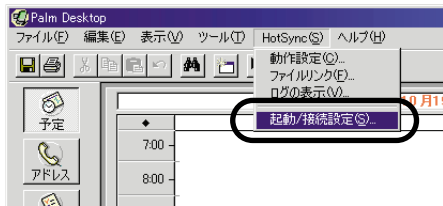
モードCを使用した操作例

PCとPalmの赤外線ワイヤレスHotSyncの操作例

Windows98で、本製品とPalm端末での赤外線によるワイヤレスHotSyncを行う場合の操作を説明します。

パームOSのバージョンやHotSyncマネージャのバージョンによっては、正しく動作しないことがあります。

- 1 本製品の接続されたPCに、「Palm Desktop」がインストールされていることを確認してください。また、ドライバの組み込み時に表示された本製品の接続ポート（COM3等）を確認しておいてください。
- 2 上記の通信の準備を行います。
- 3 Palm Desktopを起動し、「HotSync」メニューの「起動 / 接続設定」を選択します。

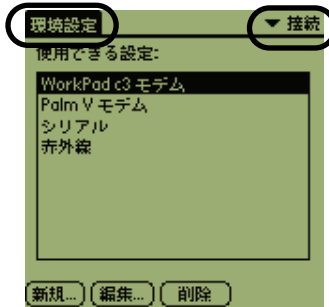


- 4 「ローカル」タブをクリックし、「シリアルポート」で本製品の接続されたポートを選択します（画面例ではCOM3になっています。）、「速度」は「57600」とします。

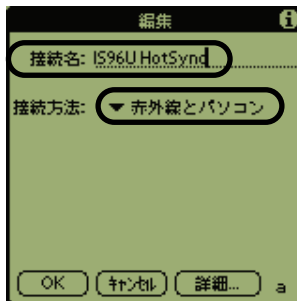


「OK」をクリックして、PalmDesktopの画面に戻ります。

- 5 Palm端末の設定を行います。ホームメニューから、「環境設定」アイコンをタップし、右上のプルダウンメニューで「接続」を選択します。



- 6 「新規」ボタンをタップし、新たに本製品での赤外線 HotSync接続の設定を作成します。
- 7 「接続名」に、製品名など、わかりやすいものを入力します。ただし、モードAにおいて違う内容での設定を作成する場合は、モードAと区別がつく名前がよいでしょう。ここでは「IS96U HotSync」とします。「接続方法」を「赤外線とパソコン」に選択します。(PalmOSのバージョンによっては、「接続方法」ではなく、「接続先」と「媒体」に分かれています。この場合は、「接続先」に「PC」、「媒体」に「赤外線」をそれぞれ設定してください。)

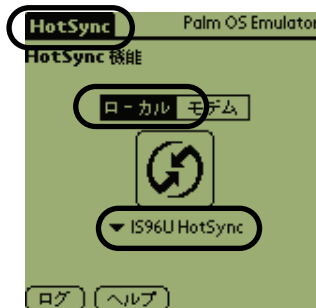


- 8 「詳細」ボタンをタップし、詳細メニューを表示させます。「速度」を「57,600bps」、「フロー制御」を「自動」にそれぞれ設定します。



「OK」ボタンを2回タップし、環境設定の画面にもどります。

- 9 ホームメニューから「HotSync」をタップし「ローカル」をタップ、接続名を環境設定で作成した接続名に設定します。



- 10 Ir-TrinityとPalm端末の赤外線ポートが向き合っていることを確認し、PalmのHotSyncボタンをタップします。

- 11 HotSyncが実行されます。

リファレンス

ATコマンドの入力方法

ATで始まります。

パソコンからATで始まる文字列が送られると、自動的に通信速度とデータフォーマットを判別します。ATに続いてコマンドとパラメータを入力し、最後に キーを押す (CRコードを送る) と、コマンドが実行されます。

例 ATZ1 (ソフトウェアリセットを実行します。)

ATに続けてコマンドとパラメータを合計50文字まで入力できます。

ATと キー入力の際に、複数のコマンドを連続して入力できます。

コマンドとパラメータは最大50文字 (CRは含まない、LFは省略可) まで入力できます。

例 ATZ1V0D001-0123

Z1はソフトウェアリセット、V0はリザルトコードを数字に設定、D001-0123は「001-0123」にダイヤルを意味します。

ATコマンド設定一覧表の見方

コマンドの後のnはパラメータを示します。

太字で表記されているパラメータは出荷時設定値を示します。

前に 印の付いているコマンドは、AT&Wコマンドで設定値を不揮発メモリに保存可能です。

コマンド	機能	パラメータ	内容
A/	直前のコマンドを再実行 入力後に[Enter]キーは不要	-	
AT	端末速度、データフォーマットを認識する	-	
ATA	強制着信動作を行う	-	
ATDxx	発信動作を行う	0 ~ 9 #xx P N	電話番号 xx=64 :PIAFS64k発信 xx=32 :PIAFS32k発信 xx=9600:PDC 9600bps発信 xx=2896:パケット発信 xx=641 :PTE(PIAFS64k対応) 経由発信 xx=321 :PTE(PIAFS32k対応) 経由発信 PTE経由のPHSデータ通信 直前の電話番号に再ダイヤル

コマンド	機能	パラメータ	内容
ATDxx	発信動作を行う	Nn * V、; S	n番に設定された短縮ダイヤルに発信する “*”以降の文字列はサブアドレス番号。ただし“D”コマンド直後の“*”はセパレータとして認識しない。 携帯電話音声通信を行う PHS音声通信を行う
ATEn	コマンドエコーの設定	0 1	コマンドエコーなし コマンドエコーあり
ATFn	公衆回線接続モード <PTE経由アナログ接続 及び携帯電話9600bps デ - タ通信時有効>	0 1 4 5 6 7 8 9 10	自動検出モード V 21 V 22 V 22bis V 32 4800bps V 32bis 7200bps V 32(bis) 9600bps V 32bis 12000bps V 32bis 14400bps
ATHn	回線接続の制御	0	モデム - オンフック
ATIn	装置コード、 ROMバージョンの表示	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	504853 認識コード 製品名 メーカー名 OKを返答 ROMバージョン OKを返答 OKを返答 OKを返答 OKを返答 OKを返答
ATNn	短縮電話番号の消去・設定 例) 設定: ATN1=x x x x	1~3 4	各番号に電話番号を設定 短縮電話番号の消去
ATOn	通信状態へ移行する (エスケープモード~ の動作を設定します)	0, 1	エスケープモードからオンライン モードへ移行する
ATQn	リザルトコードの設定	0 1	リザルトコードあり リザルトコードなし

コマンド	機能	パラメータ	内容
ATSn	Sレジスタの表示、設定		レジスタ番号 n が省略されたときは、ATSn で設定したレジスタ番号 n が操作の対象になります。初期状態では n=0 となります。
	ATSn = [設定値]		設定
	ATSn?		表示
ATVn	リザルトコードの表示形式を設定	0	数字形式
		1	単語形式
ATWn	不揮発性メモリロード	0	不揮発性メモリ 0 をロード
		1	不揮発性メモリ 1 をロード
ATXn	通信速度の表示、BUSY/ダイヤルトン検出の設定	0	通信速度表示なし、BUSY/ダイヤルトン検出なし
		1	通信速度表示あり、BUSY/ダイヤルトン検出なし
		2	通信速度表示あり、ダイヤルトン検出あり
		3	通信速度表示あり、BUSY検出あり
		4	通信速度表示あり BUSY/ダイヤルトン検出あり
ATZn	初期化 (データ通信中は回線断)	0	不揮発性メモリ 0 に設定
		1	不揮発性メモリ 1 に設定
AT%Mn	IrDA-PDCモード時の動作を設定する	0	IrCOMM / IrDIAL モードで動作
		1	スルーモードで動作
AT%Nn	IrDA-USBモード時の動作を設定する	0	スルーモードで動作
		1	アダプタのIrCOMMプロトコルを使用する
&Cn	CD信号の制御	0	CD信号常時ON
		1	CD信号は相手モデムのキャリアに従う
&Dn	ER信号の制御	0	ER常時ONとして動作する
		1	通信中にER オン オフの場合、エスケープモード
		2	通信中にER オン オフで回線切断
		3	2と同じ+回線切断後、初期化
&F	現在の設定を工場出荷時の設定に初期化する	-	(短縮ダイヤルは消去しない)

コマンド	機能	パラメータ	内容
&R	発信者番号通知	0 1	通知する (AT#SBの設定を1に設定する) 通知しない (AT#SBの設定を0に設定する)
&Sn	DR信号制御	0 1	DR信号常時ON 通信プロトコルのシーケンスに従う
&Wn	現在の設定内容を不揮発性メモリに保存する	0 1	現在の設定内容を不揮発性メモリ0に保存する 現在の設定内容を不揮発性メモリ1に保存する
&Yn	電源投入時に読み込む不揮発性メモリの設定	0 1	電源投入時に不揮発性メモリ0の内容を読み込む 電源投入時に不揮発性メモリ1の内容を読み込む
&Zn	不揮発性メモリの初期化	0 1 2	不揮発性メモリ0の内容を初期化する 不揮発性メモリ1の内容を初期化する すべての不揮発性メモリを初期化する (短縮ダイヤルは初期化しない)
¥Nn	動作モードの制御 <PTE経由アナログ接続 及び携帯電話9600bps デ - タ通信時有効>	0, 1 2 3 4 5	バッファモード V.42/MNP自動切替 リライアブルオンリーモード V.42/MNP自動切替 オートリライアブルモード V.42リライアブルオンリーモード MNPリライアブルオンリーモード
¥Qn	DTEポートフロー制御	0 1 3	なし Xon / Xoffフロー制御 RS / CSフロー制御
¥S	ステータス情報		
¥Xn	MNP10の設定 <PTE経由アナログ接続 及び携帯電話9600bps デ - タ通信時有効>	0 1	MNP10を使用する MNP10を使用しない

コマンド	機能	パラメータ	内容
%Cn	データ圧縮方式の設定 <PTE経由アナログ接続 及び携帯電話9600bps データ通信時有効>	0 1 2 3	なし MNP5 V.42bis V.42bis/MNP5自動切替
#CLS=n	データ/パケットモード の選択 <携帯電話データ通信時 有効>	0 2	9600bpsデータ通信モード パケット通信モード
#PM=n	PTE番号の指定 <PHSデータ通信時有効>	1 2 3	PTE番号1を指定する PTE番号2を指定する PTE番号3を指定する
#PNn= xxxx	PTE電話番号の登録 <PHSデータ通信時有効>	1 2 3 4 xxxx	PTE番号1に登録する PTE番号2に登録する PTE番号3に登録する 登録したPTE番号を全て クリアする PTE電話番号
#SBn	発信者番号通知	0 1	通知しない 通知する
+WS46 =n	ユーザーモードの設定 (・コマンド入力時に不揮発性メモリに保存 されます。 ・初期化コマンドでも パラメータは初期化 されません。)	20 26	携帯電話データ通信モード PHSデータ通信モード
+++AT	エスケープモードに移行		回線を接続したままコマンド入力 可能になります。 ATOコマンドで復帰します。

Sレジスタの設定方法

Sレジスタは、機器で使用する各種設定を記憶しておくメモリの一種です。
下記の書式に従って設定して下さい。

ATSn=xx Snレジスタの値にxxを設定

ATSn? Snレジスタの内容を参照

ATSn レジスタ番号nを省略したときの操作対象を設定

(n : レジスタ番号、xx : 設定値)

レジスタ番号が省略された場合は、**ATSn** コマンドで設定したレジスタが操作の対象になります。

Sレジスタ設定一覧表の見方

()内の太字は、出荷時設定値を示します。

前に 印の付いているレジスタは、**AT&W**コマンドで設定値を不揮発メモリに保存可能です。

レジスタ番号	機 能	設定範囲
S0	自動着信回数の設定 (単位: リング)	0 ~ 255 (0)
S7	オフフック制限タイマ (単位: 秒)	0 ~ 58 (58)
S9	キャリア確定所要時間 (単位: 0.1秒)	1 ~ 255 (6)
S10	キャリア損失許容時間 (単位: 0.1秒)	1 ~ 255 (14)
S25	ER許容断時間 (単位: 0.01秒)	0 ~ 255 (5)
S30	アポータタイマの設定 (単位: 秒)	0 ~ 255 (0)

リザルトコード一覧表

数字形式	単語形式	意味
0	OK	コマンドが正常実行された
1	CONNECT	接続完了
2	RING	着信が検出された
3	NO CARRIER	回線切断
4	ERROR	コマンドエラー
5	CONNECT 1200	1200bps接続
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンが検出できなかった
7	BUSY	話中音が検出された
10	CONNECT 2400	2400bps接続
11	CONNECT 4800	4800bps接続
12	CONNECT 9600	9600bps接続
16	CONNECT 19200	19200bps接続
17	CONNECT 38400	38400bps接続
18	CONNECT 57600	57600bps接続
19	CONNECT 115200	115200bps接続
24	DELAYED	リダイヤルエラー
51	CONNECT 1200/PIAFS32K	端末速度1200bps接続、回線PIAFS32K接続
101	CONNECT 2400/PIAFS32K	端末速度2400bps接続、回線PIAFS32K接続
111	CONNECT 4800/PIAFS32K	端末速度4800bps接続、回線PIAFS32K接続
121	CONNECT 9600/PIAFS32K	端末速度9600bps接続、回線PIAFS32K接続
161	CONNECT 19200/PIAFS32K	端末速度19200bps接続、回線PIAFS32K接続
171	CONNECT 38400/PIAFS32K	端末速度38400bps接続、回線PIAFS32K接続
181	CONNECT 57600/PIAFS32K	端末速度57600bps接続、回線PIAFS32K接続
191	CONNECT 115200/PIAFS32K	端末速度115200bps接続、回線PIAFS32K接続
52	CONNECT 1200/PIAFS64K	端末速度1200bps接続、回線PIAFS64K接続
102	CONNECT 2400/PIAFS64K	端末速度2400bps接続、回線PIAFS64K接続
112	CONNECT 4800/PIAFS64K	端末速度4800bps接続、回線PIAFS64K接続
122	CONNECT 9600/PIAFS64K	端末速度9600bps接続、回線PIAFS64K接続
162	CONNECT 19200/PIAFS64K	端末速度19200bps接続、回線PIAFS64K接続
172	CONNECT 38400/PIAFS64K	端末速度38400bps接続、回線PIAFS64K接続
182	CONNECT 57600/PIAFS64K	端末速度57600bps接続、回線PIAFS64K接続
192	CONNECT 115200/PIAFS64K	端末速度115200bps接続、回線PIAFS64K接続